

マルチクライアント調査

オーソライズドジェネリック(A G)の市場における位置付けと将来予測

2015年2月

《 マルチクライアント調査概要書 》

TESTA
MARKETING
INC.

テスト マーケティング 株式会社
〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-14 パールビル
Telephone 03-5642-3768 Facsimile 03-5642-3778

- ◆ 厚生労働省は2013年4月にジェネリック医薬品の数量シェアを2018年3月末までに60%にする目標を設定し、「ジェネリック医薬品の更なる使用促進のためのロードマップ」を策定するなど近年のジェネリック医薬品に対する注力度合は顕著である。医療機関でもジェネリック医薬品の積極的処方が行われており、ジェネリック医薬品のシェアは急増していると同時に、その市場競争は激しくなっている。
- ◆ その中でも先発品とほぼ同等の成分を有し、他のジェネリック医薬品に先駆けて発売できるのがオーソライズドジェネリック（AG）であり、日本国内では2013年6月に初となる「アレグラ」のAG「フェキソフェナジン塩酸塩「SANKI」」が上市された。続く2014年6月に「ディオバン」及び「ゾメタ」が、同年9月には「ブロプレス」のAGが発売され、これらの製品は先発品企業と提携関係のあるジェネリック企業によって販売されており、ジェネリック医薬品時代における先発品企業のAG戦略が試みられている。
- ◆ AG製品の上市は2014年において4製品のみで、ジェネリック医薬品との相違や動向については未だ不明瞭な部分が多い。そこで本調査ではAGの市場シェアを探るべく薬局で扱われている3製品を対象として、薬剤師へのインタビューからAG製品が今後医薬品市場にどの程度影響を与えていくか調査・分析する。

目 次

調査概要	2	11-7. 2年後のカンデサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価が現在のままの場合)	43
《総括》		11-8. 1年後のカンデサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価が一般GE医薬品と同等の場合)	45
調査対象製品におけるAGの処方患者推移予測比較	4	11-9. 2年後のカンデサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価が一般GE医薬品と同等の場合)	46
AG処方患者割合推移 薬価・納入価の条件別比較	6	11-10. 2015年以降のカンデサルタン新規患者の想定処方患者割合	48
AG及び一般GE医薬品の薬剤選択における影響度比較	7	11-11. 2015年以降のカンデサルタン新規患者の想定処方患者割合(個人・チェーン)	49
採用影響度と製品評価の比較	8	11-12. 2015年以降のカンデサルタン新規患者において AG・一般GE医薬品を使用しない理由	51
考察	11	12-1. バルサルタンにおける処方患者割合の推移変化	52
《調査結果の詳細》		12-2. バルサルタンの処方状況 (2014年12月)	53
1. 調査概要	15	12-3. バルサルタンにおける将来想定患者割合 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が現在のままの場合)	54
2. 処方箋応需枚数と対象薬剤の処方患者数	16	12-4. バルサルタンにおける処方想定推移 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が現在のままの場合)	55
3. AGに対するイメージ	17	12-5. バルサルタンにおける将来想定患者割合 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が同等の場合)	57
4. AGの採用時期	19	12-6. バルサルタンにおける処方想定推移 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が同等の場合)	58
5. フェキソフェナジン「SANKI」の採用有無と理由及び今後の採用予定	20	12-7. 1年後のバルサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価が現在のままの場合)	60
6. 「カンデサルタン」「バルサルタン」「フェキソフェナジン」の一般GE医薬品採用状況	21	12-8. 2年後のバルサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価が現在のままの場合)	61
7. GE医薬品への変更不可の処方箋割合	22	12-9. 1年後のバルサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価がGE医薬品と同等の場合)	63
8. 対象製剤において一般GE医薬品を採用していない理由	23	12-10. 2年後のバルサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価がGE医薬品と同等の場合)	64
9. 対象製剤の納入価(薬価に対する)	26	12-11. 2015年以降のバルサルタン新規患者の想定処方患者割合	66
10-1. AGの薬剤選択における採用への影響度と平均点比較	27	12-12. 2015年以降のバルサルタン新規患者の想定処方患者割合(個人・チェーン)	67
10-2. 一般GE医薬品の薬剤選択における採用への影響度と平均点比較	28	12-13. 2015年以降のバルサルタン新規患者において AG・GE医薬品を使用しない理由	69
10-3. AGと一般GE医薬品の薬剤選択における採用への影響度	29	13-1. 2014年12月時点におけるカンデサルタンAGとバルサルタンの AG処方割合の比較と理由	70
10-4. AGと一般GE医薬品の採用影響度比較 (全体)	30	13-2. 2015年12月の予測におけるカンデサルタンAGとバルサルタンの AG処方割合の比較と理由	72
10-5. 最も影響度の高い項目の選択理由 (個人)	31		
10-6. 最も影響度の高い項目の選択理由 (チェーン)	33		
11-1. カンデサルタンの処方状況 (2014年12月)	35		
11-2. カンデサルタンにおける将来想定患者割合 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が現在のままの場合)	36		
11-3. カンデサルタンにおける処方想定推移 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が現在のままの場合)	37		
11-4. カンデサルタンにおける将来想定患者割合 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が同等の場合)	39		
11-5. カンデサルタンにおける処方想定推移 (AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が同等の場合)	40		
11-6. 1年後のカンデサルタン想定患者割合の理由 (AGの薬価・納入価が現在のままの場合)	42		

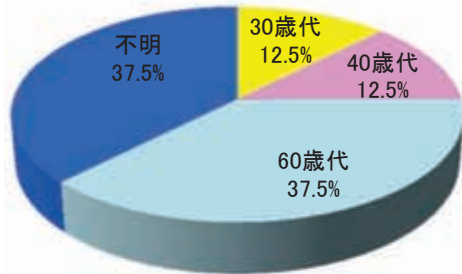
目次

14-1. フェキソフェナジンにおける処方患者割合の推移変化	74	15-12. 最も影響度の高い項目の選択理由	107
14-2. フェキソフェナジンの処方状況（2014年12月）	75	16. AGが発売された場合の採用意向	109
14-3. フェキソフェナジンにおける将来想定患者割合 （AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が現在のままの場合）	76	17-1. AG発売時の採用意向の理由 クラビット500mg	111
14-4. フェキソフェナジンにおける処方想定推移 （AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が現在のままの場合）	77	17-2. AG発売時の採用意向の理由 オルメテック	112
14-5. フェキソフェナジンにおける将来想定患者割合 （AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が同等の場合）	79	17-3. AG発売時の採用意向の理由 クレストール	113
14-6. フェキソフェナジンにおける処方想定推移 （AGと一般GE医薬品の薬価・納入価が同等の場合）	80	17-4. AG発売時の採用意向の理由 シングレア	114
14-7. 1年後のフェキソフェナジン想定患者割合の理由 （AGの薬価・納入価が現在のままの場合）	82	17-5. AG発売時の採用意向の理由 プラビックス	115
14-8. 2年後のフェキソフェナジン想定患者割合の理由 （AGの薬価・納入価が現在のままの場合）	83	17-6. AG発売時の採用意向の理由 エビリファイ	116
14-9. 1年後のフェキソフェナジン想定患者割合の理由 （AGの薬価・納入価が一般GE医薬品と同等の場合）	85	17-7. AG発売時の採用意向の理由 ジェイゾロフト	117
14-10. 2年後のフェキソフェナジン想定患者割合の理由 （AGの薬価・納入価が一般GE医薬品と同等の場合）	86	18-1. AG発売時及び一般GE医薬品発売時の想定処方割合(平均値)	118
14-11. 2015年以降のフェキソフェナジン新規患者の想定処方患者割合	88	18-2. AGを希望する製品と想定処方患者割合	119
14-12. 2015年以降のフェキソフェナジン新規患者の想定処方患者割合	89	19. AGを希望する領域と想定処方患者割合	120
14-13. 2015年以降のフェキソフェナジン新規患者において AG・一般GE医薬品を使用しない理由	90	20. AGが必要ない製品	121
15-1. カンデサルタン「あすか」の製品評価と平均点比較	91	21. AGの説明有無と患者がAGを希望してきた経験有無	122
15-2. カンデサルタン一般GEの製品評価と平均点比較	92	22. AGから一般GE医薬品に変更した患者の有無	123
15-3. カンデサルタン「あすか」とカンデサルタン一般GEで 最も評価の高い項目（全体）	94	23. AG使用患者からの意見	124
15-4. 最も影響度の高い項目の選択理由	95	24. AGに対する要望及び期待点	125
15-5. バルサルタン「サンド」の製品評価と平均点比較	97	《保険薬局チェーン本部編》	
15-6. バルサルタン一般GEの製品評価と平均点比較	98	◎ インタビュー回答企業概要	128
15-7. バルサルタン「サンド」とバルサルタン一般GEで 最も評価の高い項目（全体）	100	◎ GE医薬品の本社推奨品目の選定基準	129
15-8. 最も影響度の高い項目の選択理由	101	◎ GE医薬品において本社推奨品を決定するプロセス	130
15-9. フェキソフェナジン「SANKI」の製品評価と平均点比較	103	◎ GE医薬品の本社推奨品における店舗からの要望・意見の反映状況	131
15-10. フェキソフェナジン一般GEの製品評価と平均点比較	104	◎ 推奨品を設定し、使用薬剤を統一することのメリット・デメリット	132
15-11. フェキソフェナジン「SANKI」とフェキソフェナジン一般GEで 最も評価の高い項目（全体）	106	◎ AGの本社採用状況と採用理由・未採用理由	133
		◎ AGが発売されている品目におけるGE医薬品の採用状況	134
		◎ AGの発売時期に対する評価・見解	135
		◎ AGと一般GE医薬品の違い、位置づけについて	136
		◎ AGと一般GE医薬品の今後の使い分けについて	137
		◎ AGを本社推奨品とすることのメリット・デメリット	138
		◎ AGの今後の採用意向	139
		◎ 保険薬局チェーン各社におけるAGの今後のニーズについて	140
		◎ AGの発売企業に対する見解	141
		《インタビューフォーム》	

本稿では、新薬メーカーがジェネリックメーカーと契約してジェネリックメーカーに対して特許の使用権が与えられた製品をオーソライズドジェネリック(AG)、その他のAG以外のジェネリックを一般ジェネリック医薬品(一般GE)、オーソライズドジェネリックを含むジェネリック医薬品をジェネリック医薬品(GE)と定義する

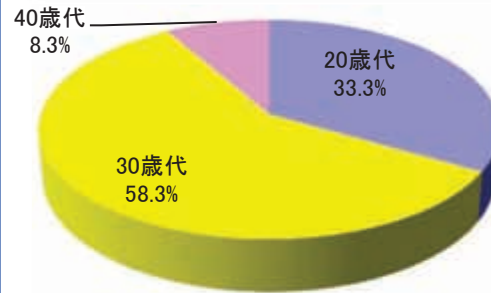
調査対象薬剤師	調査時点で「カンデサルタン「あすか」」および「バルサルタン「サンド」」を採用している、あるいは過去に採用した経験のある薬局勤務の薬剤師
調査手法	訪問インタビュー
調査対象者数	個人：8名、チェーン：12名
調査対象エリア	東京都、神奈川県、埼玉県
調査実施期間	2014年12月～2015年1月

回答者年代：チェーン



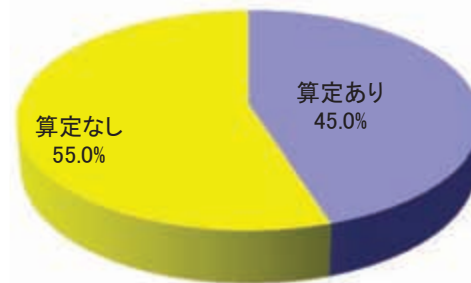
平均年齢：55.0歳 (N=12)

回答者年代：個人薬局



平均年齢：32.7歳 (N=8)

後発医薬品調剤体制加算の算定有無 (N=20)



インタビューフォーム

オーソライズド・ジェネリックに関するインタビュー

施設名			
回答者名		生年月	
役職			
処方箋処方枚数/月 (平均枚数)	枚/月		
処方箋発元の状況	開業医	%	： 病院 %
フォローアップ所属状況	はい	:	いいえ

AG=オーソライズド・ジェネリック
GE=ジェネリック医薬品

問1. 先生がお考えになるAGのイメージをお答え下さい。

イメージ

問2. 「フロプレス」「ディオバン」「アレグラ」のAGの採用時期についてお答え下さい。また、その採用時期となった理由についてお答え下さい。

製品名	採用時期	理由
フロプレス (2014年9月発売)	年 月	
ディオバン (2014年6月発売)	年 月	
アレグラ (2019年6月発売)	年 月	

問2-SQ1. 「アレグラ」のAGを採用していない先生にお伺い致します。AGを採用していない理由についてお答え下さい。また、今後の採用意向と採用予定時期についてもお答え下さい。

未採用理由	今後の採用意向の有無	採用予定時期
		年 月

問3-「フロプレス」のGEを採用されているまたは採用予定の先生へお問い合わせします。「フロプレス」のGEにおいて採用予定メーカーを全てお教え下さい。また、採用予定メーカーにおいて最も使用頻度の高いと想定されるメーカー名を1社お教え下さい。

上記のうち、最も使用頻度の高いメーカー		

問3-SQ1、GEを処方する患者さんがいる先生へお問い合わせします。「ディオパン」のGEにおいて採用しているメーカーを全てお教え下さい。また、採用メーカーにおいて最も使用頻度の高いメーカー名を1社お教え下さい。

上記のうち、最も使用頻度の高いメーカー		

問3-SQ2、GEを処方する患者さんがいる先生へお問い合わせします。「アレグラ」のGEにおいて採用しているメーカーを全てお教え下さい。また、採用メーカーにおいて最も使用頻度の高いメーカー名を1社お教え下さい。

上記のうち、最も使用頻度の高いメーカー		

問3-SQ3、フロプレス（カンデサルタン）、ディオパン（バルサルタン）、アレグラ（フェキソフェナジン）の処方箋において後製品への変更不可に署名が記載されている割合（変更不可率）と処方元がAGを指定してくる割合をお教え下さい。

製品名	GEへの変更不可率	処方元のAG指定率
フロプレス（カンデサルタン）	%	%
ディオパン（バルサルタン）	%	%
アレグラ（フェキソフェナジン）	%	%

問3-SQ4、「フロプレス」「ディオパン」「アレグラ」のいずれかにおいて、GEを採用していない先生にお問い合わせします。GEを採用していない理由についてお教え下さい。

製品名	未採用理由
フロプレス （カンデサルタン）	
ディオパン （バルサルタン）	
アレグラ （フェキソフェナジン）	

問4、「フロプレス」「ディオパン」「アレグラ」のAGの納入値をお教えください。

製品名	納入値	
フロプレス（カンデサルタン）	薬価の	%
ディオパン（バルサルタン）	薬価の	%
アレグラ（フェキソフェナジン）	薬価の	%

問5. AGとGEを採用した際の採用への影響度をお答え下さい。また、その中で最も影響度が高い項目とその理由をお答え下さい。

(5点:影響度が非常に高い・4点:影響度が高い・3点:どちらともいえない・2点:あまり影響しない・1点:全く影響しない)

薬剤選定の際の項目	AG		GE	
	点数	最も影響度が高い	点数	最も影響度が高い
1. 製薬元企業				
2. 品名				
3. 適応症				
4. 発売時期				
5. 安定供給				
6. 価格 (薬価)				
7. 価格 (購入値)				
8. 剤型のラインアップ				
9. パッケージ				
10. 包装単位				
11. 薬剤の識別性				
12. MR活動				
13. 処方元の意向				
14. 会社(本部)の方針				

<最も重視する項目の選択理由>

AG		GE	
項目番号	理由	項目番号	理由

問6. 「フロプレス」についてお伺いします。カンデサルタン(フロプレス)の2014年11月と2014年12月の先発品・AG・GEの患者数をそれぞれお教えてください。また2014年12月の新規患者における先発品・AG・GEの患者数もお教えてください。

GE発売前 2014年11月		GE発売月 2014年12月 (※新規患者除く)		GE発売月 2014年12月の新規患者数		2014年 12月合計
先発品	人	先発品	人	先発品	人	
		AG	人	AG	人	人
AG	人	GE	人	GE	人	
合計	人	合計	人	合計	人	

問7. 既存患者についてお伺いします。2014年12月時点で、カンデサルタン(フロプレス)の先発品、AGをどのような患者に処方するかをお教えてください

患者区分	どのような患者に処方するか
先発品を処方する患者	
AGを処方する患者	
GEを処方する患者	

問9. 2014年12月の新規患者について、カンヂサルタン(プロプレス)の先発品、AGをどのような患者に処方するかをお教えください

患者区分	どのような患者に処方するか
先発品を処方する患者	
AGを処方する患者	
GEを処方する患者	

問9. カンヂサルタン(プロプレス)の処方は今後どのように変化していくと思われますか、AGの薬価・納入価が現在のままの場合と、AGの薬価・納入価がGEと同等になった場合に、1年後の2015年12月と2年後の2016年12月の想定患者割合をそれぞれお教えください。今後の新規患者も加味した上でお考えください

	AG薬価・納入価が現在のまま		AG薬価・納入価がGEと同等	
	1年後 2015年12月	2年後 2016年12月	1年後 2015年12月	2年後 2016年12月
先発品	9%	9%	9%	9%
AG	9%	9%	9%	9%
GE	9%	9%	9%	9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問10. 2015年12月および2016年12月の想定患者割合の理由をAGの薬価・納入価が現在のままの場合と、AGの薬価・納入価がGEと同等になった場合に分けてお教えください

■ AGの薬価・納入価が現在のままの場合の想定患者割合の理由

1年後 2015年12月	
2年後 2016年12月	

■ AGの薬価・納入価がGEと同等の場合の想定患者割合の理由

1年後 2015年12月	
2年後 2016年12月	

問11. 2014年12月の新規患者数をベースとして、2015年以降の新規患者におけるカンヂサルタン(プロプレス)の先発品・AG・GEの処方患者数とその理由をお教えください。

区分	患者数	理由
先発品	人	
AG	人	
GE	人	
合計	人	

問12. (AG・GEを使用しない場合のみ)2015年以降の新規患者において、GE及びAGを使用しない理由をお教えください。

GE未使用の理由	
AG未使用の理由	

問13. 「ディオバン」についてお問い合わせします。バルサルタン(ディオバン)のAG・GEが発売された2013年6月の先発品・AG・GEの処方患者割合をお教えください。

	AG・GE発売月 2013年6月
先発品	9%
AG	9%
GE	9%
合計	100.0%

問14. ハルサルタン(ディオパン) 処方患者数の変化について、2014年11月及び2014年12月時点の先製品・AG・GEの患者数をそれぞれお教えてください。また2014年12月の新規患者における先製品・AG・GEの患者数もお教えてください。

GE処方前 2014年11月		GE処方月 2014年12月 (※新規患者除く)		GE処方月 2014年12月の新規患者数		2014年 12月合計
先製品	人	先製品	人	先製品	人	
AG	人	AG	人	AG	人	
GE	人	GE	人	GE	人	
合計	人	合計	人	合計	人	

問15. 既存患者についてお伺いします。2014年12月時点で、ハルサルタン(ディオパン)の先製品・AGをどのような患者に処方するかお教えてください。

患者区分	どのような患者に処方するか
先製品を処方する患者	
AGを処方する患者	
GEを処方する患者	

問16. 2014年12月の新規患者について、ハルサルタン(ディオパン)の先製品・AGをどのような患者に処方するかお教えてください。

患者区分	どのような患者に処方するか
先製品を処方する患者	
AGを処方する患者	
GEを処方する患者	

問17. ハルサルタン(ディオパン)の処方は今後どのように変化していくと思われませんが、AGの薬価・納入価が現在のままの場合と、AGの薬価・納入価がGEと同等になった場合に、1年後の2015年12月と2年後の2016年12月の想定患者割合をそれぞれお教えてください。今後の新規患者も加味した上でお教えてください。

	AG薬価・納入価が現在のまま		AG薬価・納入価がGEと同等	
	1年後 2015年12月	2年後 2016年12月	1年後 2015年12月	2年後 2016年12月
先製品	9%	9%	9%	9%
AG	9%	9%	9%	9%
GE	9%	9%	9%	9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問18. 2015年12月および2016年12月の想定患者割合の理由をAGの薬価・納入価が現在のままの場合と、AGの薬価・納入価がGEと同等になった場合に分けてお教えてください。

■AGの薬価・納入価が現在のままの場合の想定患者割合の理由

1年後 2015年12月	
2年後 2016年12月	

■ AGの薬価・納入価がGEと同等の場合の想定患者割合

1年後 2015年12月	
2年後 2016年12月	

問19. 2014年12月の新規患者数をベースとした、2015年以降の新規患者におけるバルサルタン(ディオバン)の先発品・AG・GEの処方患者数とその理由をお教えてください。

区分	患者割合	理由
先発品	人	
AG	人	
GE	人	
合計	人	

問20. (AG・GEを使用しない場合のみ)2015年以降の新規患者において、GE及びAGを使用しない理由をお教えてください。

GE未使用の理由	
AG未使用の理由	

問21. カンデサルタン(プロプレス)とバルサルタン(ディオバン)についてお伺いします。2014年12月のAG処方患者割合の2割間の差について、その理由をお教えてください。

カンデサルタン(プロプレス)：バルサルタン(ディオバン)＝	%：	%
2014年12月の「プロプレス」「ディオバン」のAG処方患者割合の差の理由		

問22. カンデサルタン(プロプレス)とバルサルタン(ディオバン)についてお伺いします。AGの薬価・納入価が現在のままの場合の1年後におけるAG処方患者割合の2割間の差について、その理由をお教えてください。

カンデサルタン(プロプレス)：バルサルタン(ディオバン)＝	%：	%
1年後(2015年12月)の「プロプレス」「ディオバン」のAG処方患者割合の差の理由		

問23. 「アレグラ」についてお伺いします。フェキソフェナジン(アレグラ)のAG・GEが発表された2013年6月の先発品・AG・GEの処方患者割合をお教えてください。

	AG・GE発売月 2013年6月
先発品	%
AG	%
GE	%
合計	100.0%

問24. フェキシフェナジン(アレグラ)処方患者数の変化について、2014年で最も処方数が多かった月と2014年12月時点の先製品・AG・GEの患者数をそれぞれお教え下さい。また2014年12月の新規患者における先製品・AG・GEの患者数もお教え下さい。

GE処方前ピーク時		GE処方月 2014年12月 (※新規患者除く)		GE処方月 2014年12月の新規患者数		2014年 12月合計
先製品	人	先製品	人	先製品	人	
AG	人	AG	人	AG	人	
GE	人	GE	人	GE	人	
合計	人	合計	人	合計	人	

問25. 既存患者についてお聞かせ下さい。2014年12月時点で、フェキシフェナジン(アレグラ)の先製品・AGをどのような患者に処方するかお教えください。

患者区分	どのような患者に処方するか
先製品を処方する患者	
AGを処方する患者	
GEを処方する患者	

問26. 2014年12月の新規患者について、フェキシフェナジン(アレグラ)の先製品・AGをどのような患者に処方するかお教えください。

患者区分	どのような患者に処方するか
先製品を処方する患者	
AGを処方する患者	
GEを処方する患者	

問27. フェキシフェナジン(アレグラ)の処方は今後どのように変化していくと思われませんが、AGの薬価・納入価が現在のままの場合と、AGの薬価・納入価がGEと同等になった場合に、1年後の2015年12月と2年後の2016年12月の想定患者割合をそれぞれお教えください。全体の新規患者も加味した上でお答えください。

	AG薬価・納入価が現在のまま		AG薬価・納入価がGEと同等	
	1年後 2015年12月	2年後 2016年12月	1年後 2015年12月	2年後 2016年12月
先製品	9%	9%	9%	9%
AG	9%	9%	9%	9%
GE	9%	9%	9%	9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

問28. 2015年12月および2016年12月の想定患者割合の理由をAGの薬価・納入価が現在のままの場合と、AGの薬価・納入価がGEと同等になった場合に分けてお教えください。
■AGの薬価・納入価が現在のままの場合の想定患者割合の理由

1年後 2015年12月	
2年後 2016年12月	

■ AGの薬価・納入値がGEと同等の場合の設定患者割合

1年後 2015年12月	
2年後 2016年12月	

問29. 2014年12月の新規患者数をベースとして、2015年以降の新規患者におけるフェキソフェナジン(アレグラ)の先製品・AG・GEの処方患者数とその理由をお教えてください。

区分	患者割合	理由
先製品	%	
AG	%	
GE	%	
合計	100.0%	

問30. (AG・GEを使用しない場合のみ)2015年以降の新規患者において、GE及びAGを使用しない理由をお教えてください。

GE未使用の理由	
AG未使用の理由	

問31. 「プロブレス」「ディオパン」「アレグラ」のAGとGEにおいて各項目における評価を3段階でお答え下さい。また、その中で最も高く評価する項目とその理由についてお答え下さい。

※最も使用頻度の高いメーカーの製剤をイメージしてお答え下さい。

(5点：評価が非常に高い・4点：評価が高い・3点：どちらとも言いえない・2点：あまり評価しない・1点：全く評価しない)

	プロブレスAG		プロブレスGE	
	点数	高評価項目	点数	高評価項目
1. 発売元企業				
2. 品質				
3. 適応症				
4. 発売時期				
5. 安定供給				
6. 価格(薬価)				
7. 価格(納入値)				
8. 剤型のラインアップ				
9. パッケージ				
10. 包装単位				
11. 薬剤の識別性				
12. MR活動				

	ディオパンAG		ディオパンGE	
	点数	高評価項目	点数	高評価項目
1. 発売元企業				
2. 品質				
3. 適応症				
4. 発売時期				
5. 安定供給				
6. 価格(薬価)				
7. 価格(納入値)				
8. 剤型のラインアップ				
9. パッケージ				
10. 包装単位				
11. 薬剤の識別性				
12. MR活動				

	アレグラAG		アレグラGE	
	点数	高評価項目	点数	高評価項目
1. 発売元企業				
2. 品質				
3. 適応症				
4. 発売時期				
5. 安定供給				
6. 価格（薬価）				
7. 価格（納入値）				
8. 別型のラインアップ				
9. パッケージ				
10. 包装単位				
11. 薬剤の識別性				
12. MR活動				

<最も評価する項目の選択理由>

		項目 番号	最も評価の高い理由
トヨタ	AG		
	GE		
インハイ	AG		
	GE		
三菱	AG		
	GE		

オーソライズド・ジェネリック全般についてお伺いします

問32. 下記のそれぞれの先薬品においてAGが発売された場合の、採用意向について4段階でお答え下さい。また、採用意向において、4.採用したい、3.やや採用したいと回答した先生においては採用開始時期について該当するものをお答え下さい。

(4.採用したい) 3.やや採用したい) 2.あまり採用したくない) 1.採用したくない)

※納入値については現在採用しているAGと同等と想定して下さい

製品名	採用意向	採用意向の理由
クラビット 500 mg		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用
オルメテック		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用
クレストール		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用
シングレア		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用
ブラドックス		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用
エビリファイ		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用
ジェイゾロフト		AG発売後すぐに採用・GE発売後に採用

問33. 問35で採用意向があると回答したAGについてお伺いします。AGの採用開始時の先製品・AGの患者割合をお教え下さい。また、GE発売時の先製品、AG、GEの患者割合をお教え下さい。その際、AGからGEに切り替えると想定される患者割合についても併せてお教え下さい。

※先製品を処方していた患者さんを100%とする

	AG発売時		GE発売時			GE発売時のAGからGEへの切り替え患者割合 (%)
	先製品・AG患者シェア (%)		先製品・AG・GE患者シェア (%)			
	先製品	AG	先製品	AG	GE	
クラビット 500 mg						
オルメテック						
クレストール						
シンクレア						
ブラビックス						
エビリファイ						
ジェイソロフト						

問34. 問36であげた先製品以外にAGの発売を希望される、先製品がございましたらお教え下さい。また、AGの採用開始時の先製品・AGの患者割合とGE発売時の先製品、AG、GEの患者割合をお教え下さい。その際、AGからGEに切り替えると想定される患者割合についても併せてお教え下さい。

※先製品を処方していた患者さんを100%とする

	AG発売時		GE発売時			GE発売時のAGからGEへの切り替え患者割合 (%)
	先製品・AG患者シェア (%)		先製品・AG・GE患者シェア (%)			
	先製品	AG	先製品	AG	GE	

問35. AGの必要がないと思われる先製品がありましたらお教えください。また、必要がないと考えられる理由についても併せてお教え下さい

製品名	理由

問36. 患者さんが処方箋を持参した際にAGについての説明はしていますか？また、1.説明している、2.時々説明している、を選択された先生はどのような説明をされているか、具体的に教えてください。

1.説明している	2.時々説明している	3.説明していない

説明内容

問37. 患者さんからAGを希望されることはありますか？また、AGを使用していた患者さんが、GE発売後、GEに変更を希望するケースはありますか？それぞれどのような患者さんが希望されるのかも合わせてお教え下さい

	患者希望の有無	患者の特徴
先製品からAGへの切り替え希望		
AGからGEへの切り替え希望		

問38. これまでAGからGEへ変更をした患者さんがいる先生にお伺い致します。AGからGEへ変更をした際の患者さんの反応についてお教え下さい。

患者の反応

問39. 現在、AGを使っている患者さんからの評価や先生に寄せられるご意見などがありましたらお教え下さい。

患者の評価・意見

問40. AGに対して今後期待する点や要望点がございましたら教えてください。

期待する点・要望点

質問は以上です。ご協力ありがとうございました

「オーソライズドジェネリック（A G）の市場における
位置付けと将来予測」

頒価：180,000円（消費税別）＜CD-R付＞

※CD-Rには「集計分析編」を含みます

発行日：2015年2月13日

発行人：金塚 進

発行所：テスト マーケティング株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町2-14
TEL 03-5642-3768
FAX 03-5642-3778

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部または
全部の複製無断転載をお断り致します。